

【 投薬 】

815 ゾルピデム酒石酸塩錠と他の催眠鎮静剤の併算定について

《令和8年4月30日》

○ 取扱い

ゾルピデム酒石酸塩錠（マイスリー錠等）と他の催眠鎮静剤（薬効分類番号1120）の併用投与は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

催眠鎮静剤は、バルビツール酸系催眠鎮静剤、ベンゾジアゼピン系催眠鎮静剤、非ベンゾジアゼピン系催眠鎮静剤、メラトニン刺激薬、オレキシン拮抗薬に大別され、作用時間別に超短時間作用型、短時間作用型、中時間作用型、長時間作用型に分類される。

ゾルピデム酒石酸塩錠（マイスリー錠等）は、不眠症のうち入眠障害に対して投与する超短時間作用型の非ベンゾジアゼピン系催眠鎮静剤である。

不眠症は、入眠障害、中途覚醒、早朝覚醒又は熟眠障害の4つのタイプに分かれるが、症状により複数の催眠鎮静剤を併用投与することがある。

以上のことから、ベンゾジアゼピン系催眠鎮静剤の多剤併用によって有害事象のリスクが高まることが危惧されるものの、臨床上の有用性よりゾルピデム酒石酸塩錠（マイスリー錠等）と他の催眠鎮静剤（薬効分類番号1120）の併用投与は、原則として認められると判断した。